

パパ・ママ子育て知恵袋

第39回は「卒アルを引っ張り出す」

退職前の荷物整理を始めようと思い、ごっそりしてしましたら、教え子たちとの卒業アルバムやら文集やら交換日記が出てきました。よくある話ですが、そんなものを見つけてしまったら、片付けが進むはずがありません。段ボールに雑に突っ込んであったあれやこれの中に、私自身の卒業アルバムを発見しました。

（パパママの世代は「卒アル」と言うのですよね） 30年以上開いていなかった蕨市立東小学校の卒アルには、当時珍しかったメガネっ子の私がいました。

集合写真の真ん中には、担任していただいた^{わしや}鷺谷先生がおられます。私はこの先生にビンタされてひっくり返ったことを思い出し、でも、この先生が大好きでお家にも何度もお邪魔したことが鮮やかによみがえってきました。クラスメイトには、当時の私をいじめていた子もいて、そういう奴のことは忘れられないものなんだと、60歳になって考え込んでしまいました。大好きだった直子ちゃんは、やっぱりかわいいなどにやけてしまいました。

自分の顔が長男が6年生のときとそっくりなことに驚きました。

そして、この頃の自分は、プライドばかり高くて、嫌みで、可愛げも、取柄もないガキンチョだったことを思い出しました。卒アルはなつかしさの後に、恥ずかしさを感じさせるものでした。

皆さんもご自身の卒アルを押し入れの奥から引っ張り出してみませんか。卒アルに限らず、親が撮りためてくれたアルバムがあったら、それでもよいです。お子さんと同い年のご自身を見つけてください。

それから、今、目の前でゴロゴロしている我が子を見てください。

そこには、子供時代のご自身がいますでしょうか？

「宿題やったの？ 勉強しなさい」「ゲームばかりやってないで、片付けしなさい」「早くしなさい。何やってるの」のお小言を出しにくくなるはず。

はあ～とため息が出るはずです。

私はスマホでゲームをしている三男坊を見ながら、「まあ、なんとかなるっしょ」と思って、アルバムを元あった段ボールに戻しながら、片付けをあきらめました。